



おひさまだより (年少児・未満児)

令和6年3月号 十日町市発達支援センター TEL025-752-7270



暖かな春の日差しを感じる日もあれば、雪が降って寒い日もあり、寒暖の差が大きい毎日ですが、少しずつ春の訪れを感じる季節となりました。3月に入り、今年度も残りわずかとなりました、お子さんやご家族の方は就園や進級に胸を膨らませていることでしょう。

さて、教室の様子をお知らせしてきた今年度のおひさまだよりも、最終号となりました。1年間を振り返ると、お子さん一人ひとりに成長が感じられます。保護者の皆様からは、おひさまでの活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。来年度もよろしくお願いいたします。



～各教室のお子さんの様子をご紹介します～



<ほかほか教室(未満児親子教室)>

- ・トランポリンを跳ぶ、足を交互に出して滑り台に登るなど、身体の使い方が上手になってきました。
- ・友だちへの興味も広がり、楽しんでいる遊びを見たり、真似したりする姿が見られるようになりました。
- ・自分のやりたいことや気持ちを、大人の手を引いて知らせたり、簡単な言葉で伝えたりする姿が増えています。
- ・小麦粉粘土やピロピーズなど、様々な感触の玩具や遊具に触れて、遊ぶ経験ができました。

<にこにこ教室(年少児親子教室)>

- ・親子で好きな遊びを楽しめるようになり、個々に合わせた方法で簡単なやりとりができる場面が増えていきます。
- ・遊びを通して大人の促しで順番が守れるようになりました。自分の好きな遊具で身体を動かして楽しみながら、少しずつ友だちの姿にも興味を広がってきています。
- ・セラピー粘土やビニールテープ貼りなど、椅子に座って集中して取り組める時間が増えてきました。

どちらの教室でも、毎回最後に振り返りを行い、保護者の方に子どもたちの「良かった・成長したところ」を発表してもらいました。どうしても「できない・苦手なところ」に目が向きがちですが、意識してみるとキラリと光る成長を感じられるような場面がたくさんあったと思います。普段の生活の中でも、子どもたちの良いところをたくさん褒めてあげると、自信に繋がると思います。



未満児・年少児親子教室では、同じ活動を繰り返し取り入れています。繰り返すことで、安心して活動に取り組み、今まで取り組めなかった活動に参加できるようになり、お子さんの「やってみたい!」「できた」「おもしろかった!」という経験が自信につながるなどの効果があります。

また、子どもたちが好きな遊びを楽しむ中で、楽しい気持ちやうれしい気持ちが声になってきます。その声になった気持ちに丁寧に応えていくことで言葉が増え、やりとりに繋がっていきます。日々の小さな成長を共有していきながら、今後もお子さんの成長発達を一緒に見守っていきましょう。